



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT
TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y's Men's CLUB

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

「当クラブは町田市社会福祉協議会が奨励する“わくわくサロン”の公認団体です」



2021年
7月号 (第27号)

THE SMILE-RING Chartered in Feb. 2019

今月の聖句

わたしは言う。「闇の中でも主はわたしを見ておられる。夜も光がわたしを照らし出す。」闇もあなたに比べれば闇とはいえない。夜も昼も共に光を放ち、闇も、光も、変わる場所がない。

詩編 139編 11～12

《モットー》

『強い義務感を持つ 義務は全ての権利に伴う』

国際会長 キム・サンチェ(韓国) 「世界と共にワイズメン」

アジア・太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート)

「100年を越えて変革しよう」

東日本区理事 大久保知宏(宇都宮)

「私たちは 次の世代のために 何ができるか？」

東新部部長 松香光夫(東京町田コスモス)

「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

クラブ会長 為我井輝忠 「感謝、信頼、地固め、成長！」

クラブ役員 直前会長 太田勝人 書記 尾張日出夫

【7月の巻頭言】 為我井輝忠



7月になった。

今月はワイズメンズにとってはキックオフの月、出発の月である。言わば、新しい年度の始まりである。我がスマイリングクラブが発足して早や3年を迎えたが、これからどのように進化していくかは未知数である。願わくはこれから20年も30年あるいはそれ以上も継続して行ってほしいが、それには今が大事だと言ってもよいだろう。

今は基礎固めの時である。何事も足元を見据えて、将来のために進まなければならない。

そのためには今後何をすべきか。弱小クラブにとって大きなことは何もできないが、いくつかの試みを考えてみた。

1. 近隣クラブ(多摩みなみクラブと町田コスモスクラブ)との連携・協力 — 単独では出来ないことを共同で行い、欠けているものを互いに補い、共に困難を乗り越えていきたい。

2. 地域の社会福祉関係機関と連携をとる — 町田市社会福祉協議会の会員として、地域に根差した働きをしていきたい。どのようなことが出

2021年7月例会プログラム

日時：2021年7月21日(水)19:00～20:30

会場：Zoomにて開催します。

(下記 URL をクリックしてご入場下さい)

<https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNyZWZicFpzY1JUUT09>

司会 尾張日出夫

1. 開会点鐘 会長 為我井輝忠

2. ビジター紹介

3. 諸報告など 太田 勝人

4. 今度のクラブ運営について

5. 閉会点鐘 会長 為我井輝忠

※ ZOOMにつき一部省略させていただきます。

来るか未知数であるが、身の丈に合った活動をしていきたい。

この2点が我がクラブの今年の、否、今後の重点目標としていきたい。皆様のご協力をいただければ幸いである。また、様々な試みができるように皆様の知恵と助言をいただければと思う。

6月の在籍者		例会出席	出席率	BFポイント		ファンド	
メン	11	例会出席7名、内当クラブ5名		現金	0	スマイル	0
休会中	2	ビジター	3	切手(円)	0	オークション	0
メーキャップ		ゲスト	0				
合計	9	出席率(%)	56	累計	0	累計	0

今年是我がクラブにとって重要なイベントがある。それは、9月11日(土)の第25回東新部大会のホストクラブとしての任務である。新たな松香新部長の下での大会である。新型コロナウイルスの蔓延状況によってはハイブリッド形式にならざるを得ないかもしれないが、いずれにしても太田実行委員長を中心に成功させるべく努力したいものである。

今月の強調テーマ

7月の強調テーマ：キックオフ・Change! 2022

*「キックオフ」：ワイズメンの新年度はこの7月から始まります。今から99年前1922年アメリカ・オハイオ州“トレド”にてPaul Alexander氏によって発足し、アメリカ式の年度となっています。昨年のブリテンに彼のスピーチを田中博之前アジア太平洋地域会長が訳され、それを掲載していますので、お読みくださっておられることと思います。7月はクラブ会長の就任、東新部部長の公式訪問と部長の主題と方針説明を皆でお聞きします。

その上で、城田ワイズの提案で、6月に続いて会員同士の話し合いを続けます。キックオフにふさわしい月としたい考えでいます。

*「Change! 2022」：あと1年でワイズ発足して100周年を迎えます。それに向かって会員を増強しましょう、と東日本区理事、東新部部長以下一丸となってEMCに取り組んでいます。しかしながらこのコロナ禍の中で思うように活動が出来ていないのが実情です。会長も2020年末には15名を目標とする、と張り切っていますので、皆で支え合って目標近くにまで達成できるよう頑張りましょう。

(太田記)

6月例会の報告など

6月16日(水)、町田スマイリングの例会を開催しました。(19時～20時40分) ※司会：尾張日出夫

1. 参加者(下記の7名)(内訳・敬称略)

*主催：町田スマイリング：5名

太田勝人、尾張日出夫、城田教寛、諏訪治邦、為我井輝忠

*ビジター：2名

東京：江口耕一郎、町田コスモス：権藤徳彦

2. 諸報告(太田勝人、為我井輝忠)

1) 上嶋一華さんがシャーロームの家を退職された。今後は臨床心理士の道を進むため、スマイリングクラブを6月10日付で退会されました。

2) 6月12日東日本区大会で当クラブが表彰されました。(表彰の内容は下記の報告を参照)

3) 9月11日の東新部大会を、ケータリングができる市民ホールを使って開催します。市民ホールは10月以降は建替のため閉館になるので、この日程になりました。リアルな開催ができるのかどうか1ヶ月前までに実施方法を見極めて判断をしたい。レストランの利用については、5日前で良いそうです。なお、ハイブリットでの開催は多摩みなみクラブの伊藤さんに指導をお願いしたい。

4) 3クラブ合同例会を2ヶ月に一度実施するので、8月は多摩みなみクラブ、10月はスマイリング、12月はコスモスクラブが企画するクリスマス会となります。

5) 2020年度の会計報告(太田)

年度内の収支の要旨について説明がありました。期末残高437,693円を次期に繰越しました。

(尾張記)

第24回東日本区大会で表彰

ワイズでは毎年2月が「各種献金納期」となっていて、東日本区全体の運営に貢献するものと、国際協会の運営に貢献するものがあります。

我がクラブでは、身の丈に合った献金をさせて頂こう、と考えて2月に献金いたしました。

その結果、下記の分野で6月12日甲府にて開催された第24回東日本区大会にて表彰を受けましたので、お知らせいたします。

(1) CS 献金達成賞 (2) ASF 献金達成賞



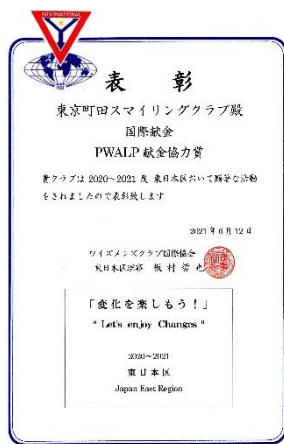
(3) BF 献金達成賞 (4) BF 使用済み切手収集優秀賞：特に為我井会長ご自身が収集してきた使用済み切手を、なんと!「20,100円」となり第1位となりました。

「(使用済み切手という)無から有を生む」ワイズの伝統の一つで輝かしい実績を達成することが出来ました。おめでとうございます!

(次頁左に表彰状掲載)



(5) YES 献金達成賞 (6) PWALP (ワイズの創設者ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産計画) 協力賞



(太田 記)

は弾圧されているというような声を耳にするが、果たしてそうだろうかと大いに興味があった。

日曜日に教会に出かけると、どこでも教会の中は人でいっぱい、ぎりぎりで行ったり少しでも遅れて行ったりすると、会堂の中には入れず、外でスピーカーを通しての話を聴くことになる。教会によっては、日曜日に何度も礼拝が行われているところもある。おそらく教会に来る人の数の割には教会が少ないということが言えるのかも知れない。どの教会も入りきれない人々が外で聴いているのを目にすると、中国で教会の



活動が制限されているというようなことは到底信じられない。

大連に住む知人の調査によると、市内にはプロテスタントとカトリックの両方合わせて主要な教会が8か所あり、私は大連滞在中に時間を見つけて、これらの

新華街道教室でのクリスマス礼拝 教会を訪ねてみた。この調査以外にも小さな教会があるかもしれないので、実際の明確な数はわからない。これらの教会以外にも教会ではないが、外国人を対象にした集会もいくつかある。こうした教会や集会に出席した状況から、中国におけるキリスト教の様子を幾分か垣間見ることが出来るかもしれない。

大連にある8つの教会は次の通りである。8だけがカトリック教会で、あとは全部プロテスタント教会である。王光街礼拝堂のような、いくつか戦前からの古い教会もいくつかある。

1. 基督教王光街礼拝堂 (元日本人教会)
2. 承恩堂 (旧北京街教堂)
3. 興工街礼拝堂 (朝鮮人を対象とした教会)
4. 基督教大連豊収堂
5. 金州礼拝堂
6. 旅順礼拝堂
7. 莊河市基督教新華街道教堂
8. 大連市天主教堂

「王光街礼拝堂」は前号で述べたように戦前は日本人教会であったが、その当時は「聖公会教会」という名前であった。中山広場のすぐそばにあり、かつて英国大使館内にあったが、もともとは名前の通り英国国教会の建物であった。

「承恩堂」は王光街礼拝堂と同様に古い歴史を有する教会で、1928年にデンマークのルーテル教会が建設し、かつては北京街教堂と呼ばれていたが、2006年11月に承恩堂となった。ここも1日に何度も礼拝があり、毎回多くの人々が詰めかけているようである。

中国とキリスト教をめぐって ③
— 大連のキリスト教会を訪ねて
為我井 輝忠

前号では遼寧省の大連市にある戦前の日本人教会・王光街教堂について紹介したが、今回は同じく大連市内にあるキリスト教会の状況や日曜日に出かけた礼拝の様子などを述べてみたい。これまで中国ではキリスト教会はあまり表立って活動できないとか、あるいは



莊河市基督教新華街道教堂の入口

「興工街礼拝堂」は朝鮮人を対象にしたプロテスタント教会である。訪ねた時は中に入ることが出来なかったのも、内部の様子はわからない。資料によると、この教会はもともと友好広場の現在 KFC(ケンタッキー・フライドチキン) の場所にあった日本長老会の分会として建てられたが、戦後に朝鮮族の教会となったそうである。

「基督教大連豊収堂」はこれまで訪れたことはないのも、どのような教会かわからないが、近い将来行ってみたいと思う。資料によると、この教会は 2001 年に建設された割と新しい教会で、4000 人も収容できるそうである。空港へ向かう西北路と東北高速道路の金三角の中間点にある。

「大連市天主教堂」は歴史のあるカトリック教会で、日本統治時代の 1926 年にメリノール会が建設した。多くの日本企業が入っている大連森ビルから北へ 5 分くらいのところにある。

大連にはその他に中心部から離れた「金州礼拝堂」や「旅順礼拝堂」、「荘河基督教新華街道教堂」がある。前二者については詳細のほどはわからない。荘河基督教新華街道教堂については、住んでいた近くにあったので大連にいる間に 6～7 回訪ねたことがある。この教会はプロテスタントの教会で、毎週日曜日午前 8 時から 9 時半まで聖日礼拝がある。8 時に出かけても、すでに入りきれないほどで、20 分前に行ってもどうにか座れるくらいである。礼拝の前に 30 分位讃美歌の練習(?)が行われている。聖歌隊もあり、賛美の際の斉唱の指導をしたり、礼拝の前に賛美をしたりしている。出席者は割と中高年の人が多いような気がする。若い人はいることはいるがそんなに多くはない。

礼拝は牧師の祈祷から始まり、信仰告白、賛美、牧師のメッセージ、主の祈り等全体の流れは日本の教会と変わらない。違いがあると言うならば、中国の教会の方が熱気に溢れている気がする。

信仰告白時の熱気は凄まじい。個人個人で声に出して祈るが、その祈りは大きな声で 10 分以上は続いている。また、牧師のメッセージの時も、「そう



韓国人牧師が説教中

だ、そうだ！」(そう思うが・・・) というような声がしばしば入る。メッセージの内容は中国語のために私にはほとんど分からない。時々聖書に出てくる人物の名前とか地名等が聞き取れる程度である。隣にいる人が聖書の箇所を教えてくれたり、歌う讃美歌の番号を教えてくれたりする。私が讃美歌集を持っていないとわかると、自分のものを見せて

くれた。12 月 23 日はクリスマス礼拝があり、なかなか興味深いものがあった。

正式な教会の礼拝以外にも、主として外国人を対象とした集会在都心部では二つあった。ひとつは International Christian Fellowship (以後、ICF と省略) というグループで、毎日曜日に大連中心部のスイスホテルで行われていた。1 回目の礼拝は、9 時から 10 時半までの英語による礼拝である。2 回目は 10 時 45 分から 12 時までの韓国語による礼拝である。

どちらも大体 30 名位の出席者であった。前者は主に欧米系の人たちやインド人が集まり、後者はほとんどが韓国人である。



礼拝後の話し合い

英語での礼拝時には日本人の方も数人出席されていて、お会いすることがあった。両方とも説教されるのは韓国人の女性の牧師で、ご夫妻で活動されているようであった。

もうひとつの外国人を対象にした集会は、もとイギリス大使館があったビルの中にあり、同じように毎週 10 時から開かれていた。こちらの集会は中国人の方が説教や奉仕されていて、来訪される日本人が多いので礼拝は日本語と英語で行われていた。こちらはホーリネス系の集会のようで、ICF に比べると、やや熱気を帯びていて、圧倒されるところがあった。

これらふたつの集会は大連在住の日本人の方に教えていただき、何度も出かけたが、主に ICF の方に出かけることが多かった。時々このような集会に出て英語や日本語の説教を聞き、中国にいながら多くの外国人と接することが出来て、いろいろな刺激を受けることが出来たのは良い体験であった。

ホイットマンが「草の葉」に描いた侍

今から 161 年前 1860 年の今ごろ(正確には 6 月の末頃) ニューヨークの目抜き通りを日本刀を差した侍達が行進しました。それは 1858 年に締結した日米修好通商条約の批准書交換のため渡米した幕府の使節を迎える米国の行事でした。その様子をアメリカの国民的詩人ホイットマンが詩集『草の葉』に“ブロードウェイの華麗な行列”と題して熱烈に歓迎する暖かい詩を書き残しています。これは当時のアメリカ人の気持ち代弁するものですが、長いので一部を抜粋します。

西の海を越えていま日本から渡来した、
頬に日焼けのあとをとどめ、二本の刀を
たずさえる礼儀正しい使節たち、
無蓋の馬車にゆったりと身を託し、
無帽のまま、動ずる気配もなく、
今日マンハッタンの街を歩む。
幾万もの目が釘付けにされて凝視し、
島国から渡来した客たちが進みゆく、
日焼けした顔、熱烈な魂、輝く瞳、
梵天の一族がやってくる。

こうして始まったばかりの日米の交流もアメリカ
は翌年から5年間に亘る南北戦争が始まり、日本は
幕末の動乱期を迎えました。

『草の葉』はホイットマンが生涯を通じて書き加え
手直しを続けた詩集です。南北戦争のことやリンカ
ーン大統領の死を悼む詩など、当時のアメリカを活
写しています。

ウォルター・ホイットマンは私が大好きなアメリ
カの詩人です。『草の葉』を読むと古き良きアメリ
カ人、否・今なお多くのアメリカ人が心に秘めて
いる優しさ、強さ、健全な正義感を感じ取ることが
できます。

(尾張記)

YMCA NEWS

東京YMCAの運営・諸活動にご協力いただきありがとうございます。
ワイズも新年度がスタートしました。スマイリングクラブでは部会の担当とい
うことで忙しくなるかと思いますが、楽しいワイズ・YMCAを目指して行き

たいと思います。

※サマーキャンプ・サマースクールの受付が開始されます。

コロナ禍で昨年以來、教育キャンプは中止せざるを得ませんでした。この夏、定員を絞り安全を確保した形で
キャンプおよび日帰りのサマースクールを開催します。詳細はHP等でご覧ください。特に、伊丹さん所属の
むかでクラブ発祥の、野尻学荘(2週間の小学5年～高校生男子のみのキャンプ)も1シーズンぶりに再開し
ます。ご家族・ご親戚でご興味のある方は遠慮なくお申し出ください。ご紹介させていただきます。

※行事スケジュール

① 会員芸術祭(東陽町センター) 6月27日～7月3日

② 長崎原爆被災写真展(東陽町センター) 7月7日～16日

③ 第35回インターナショナル・チャリティーラン

※個人の部 10月16日～22日 ★団体の部 10月23日～31日

スマートフォンアプリでのウォーキング形式で実施します。

(諏訪治邦記)

これからの予定

- ① 2021年7月21日(水) 第1例会 (Zoom例会) 19:00～21:00
- ② 2021年7月24日(土) 東新部第1回評議会
- ③ 2021年8月3日(火) 合同例会 (Zoom例会) 19:00～21:00
- ④ 2021年8月18日(水) 第1例会 (Zoom例会) 19:00～21:00
- ⑤ 2021年9月11日(土) 第25回東新部部大会 13:30～17:00

会費納入のお願い

- ☆ 7月から新年度になりました。クラブ会費のお振込をお願いします。
- ☆ 振込口座は下記の通りです。

○例会日 第3水曜日 19:00～21:00 会場: まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

○第2例会 第1土曜日 13:30～15:00 会場: まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ: 事務所: 〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 太田勝人気付

会費振込口座: 城南信用金庫、玉川学園支店(支店番号: 075)

普通預金 口座番号: 155093 口座名義: トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ